

## 第3回福岡市地球温暖化対策実行計画協議会 議事録（要旨）

日時 平成28年5月18日（水）13時55分～15時40分

場所 天神NKビル A+B会議室

### 議事及び主な意見

#### 1. 福岡市地球温暖化対策実行計画の素案について

##### （1）第1章～3章について

- ・12ページのコラムに「2012（平成24）年の夏に関東などでは計画停電が実施されました」と記載してあるが、事実なのか確認すること。
- ・12ページのコラムに「電化製品（冷蔵庫、エアコンなど）の買い換えの際には、省エネ家電を選ぶ人が増えているようです」や「HEMSについても少しずつ認知度が向上しているようです」などの記載があるが、語尾を統一すべきである。
- ・31ページの図9には、公共交通機関のみのデータを記載しているが、コンパクトシティの特徴とも関連するので、自家用車の利用状況を含めた総交通量に対する交通手段の分担率を加えてほしい。自動車の利用状況は毎年データがとれていないかもしれないので、図9のなかに入れることができない場合は別の図に示しても良い。
- ・38ページの図20に記載してある2014年度は、夏が涼しい年だったので、代表的な姿ではないかもしれない。国が出している年別の平均温度などより2014年度の気候状況が平年と同レベルなのかを確認すること。
- ・50ページのコラム「福岡市役所の再生可能エネルギー導入状況」には、関連写真などを加えると状況がよりわかりやすい。また、表に記載してある「発電出力」は「設備容量」に修正すること。実際に発電した発電量が把握できれば、合わせて記載しても良い。
- ・55ページの表14の「推計方法」に示している内容は、算定の要素であるため、「推計方法」との表現は間違っている。「推計に用いられた削減方策」などに修正すること。推計方法については、国の対策導入による削減量を福岡市に当てはめて計算しているとの説明を入れてほしい。
- ・削減目標について、参考資料1には、重点3部門の部門ごとの削減目標を示しているが、素案には全体の削減量のみを記載している。福岡県や北九州市の目標との比較ができるよう、参考値として部門ごとの削減目標を資料編に入れてほしい。

##### （2）第4章について

- ・第4章は、施策を「市民・事業者の取組内容」と「市の取組内容」に分けて書いており、今の書き方では各主体の共働が読み取りにくい。99ページに各主体の連携・共働についての記述を入れているが、第4章の頭にも「以下の取組は各主体の連携を前提とするものです」など、繰り返して記載した方が良い。
- ・「各主体の取組内容」において、家庭における日常的な取組はあまり入っていない。また、国の地球温暖化対策計画で掲げている「国民運動の展開」との整合がとれないように見える。省エネ機器の導入などのインフラの整備と比較するとその効果は小さいが、計画に内容を追加することを検討する必要がある。
- ・適応策の「農作物に関する対策」は事業者の取組が重要で、「自然生態系に関する対

策」は外来種などに対する市民の観察が重要な情報となる。こういう観点から、適応策には市民と事業者に協力してもらえらるるよう、関心を持たせるような取組をもっと書くべきである。

- ・高齢者の熱中症患者が増えているため、熱中症対策については、保健福祉局と調整し、高齢者に向けた配慮を施策のなかに追加すべきである。
- ・豪雨・浸水対策については、現在市で実施している事業を再度確認し、記載できるものは80～81ページに追加すべきである。
- ・福岡市は集合住宅が多いことも特徴なので、集合住宅の省エネに向けた福岡市ならではの取組を施策に入れるべきである。
- ・冬場の電気使用量も増加しているため、その対策として「ウォームビズ」の推進を施策に追加すべきである。
- ・68ページに、現在市で行っている下水熱の活用に向けた取組を追加すべきである。
- ・用語の書き方が整理されていない。例えば、60ページの「めざす姿」、「市民・事業者」の2列目、3行目「住宅・ビルのゼロ・エネルギー」は、「住宅・ビルのゼロ・エネルギー化」に修正すること。また、63ページの表の「省エネ性能の高い設備・機器の導入促進」3行目に「次世代自動車（EV、PHV、FCV）」と記載しているが、略語についての説明がなく、ページによっては「,」、「・」が混在している。67ページには「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」と略語が記載してあるが、66ページには記載していない。用語集と合わせて、本文中の言葉を整理すること。
- ・60ページの「市の施策例」の3列目、3行目に記載してある「EV、PHV、FCVの導入助成」については、インフラの整備も合わせて記載すべきである。
- ・63ページの表の「建築物の省エネ化」の3行目「省エネ技術を習得します」との表現は、まだ一般的に普及していない省エネ機器や設備を取り付ける技術を習得することを示している。その意図がわかるように表現を見直すこと。
- ・83ページの表の5行目に「カーテンや複層ガラスにより断熱性の向上を進めます」と記載してあるが、カーテンは断熱性の向上につながらないため正しくない。表現を修正すること。
- ・89ページ「市の取組内容」の表は、1行目と5行目が重複しているため修正すること。

### (3) 第5章～6章について

- ・市役所業務において、部局や施設ごとのエネルギー使用量や取組状況は把握されていない。これらを点検・公表する仕組みを具体的に検討してほしい。点検の結果は、本計画に示しても良く、「環境報告書」として別途まとめても良い。西鉄の環境報告書の事例が参考になる。また、点検・公表の仕組みを検討していくことを、本計画に記載してほしい。
- ・第4章にはネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化を掲げているが、第5章市役所業務には入れていない。モデル都市として、市役所のZEB化に向けたビジョンを計画に示す必要がある。また、市役所本庁舎だけでなく、他の施設等でも取り組むべきとすることを全庁に周知しないといけない。
- ・計画策定後は協議会で進行管理をしていくことについて異議はない。その際は、成果指標の点検結果を明確に示さないといけない。また、メンバーに市民を入れるこ

とも検討する必要がある。

**(4) 資料編について**

- ・資料編のなかには、全国の数字なのか、福岡市の数字なのかが不明なものがあるので明記すること。

**2. その他**

- ・次回の協議会は、「資料編」と「はじめに」も整えて、7～8月に開催する予定である。本日の素案について追加で指摘事項がある場合には、事務局に連絡してほしい。大きな指摘事項があった場合は、7～8月よりも前にもう1回開催することを考えている。